

鶏舎の入退場

- 鶏舎入口はウイルス侵入防止の最後の砦です。
- 衛生管理区域内にもウイルスが存在・侵入しているものとして、消毒や更衣等の徹底により、鶏舎内にウイルスを持ち込ませないことが重要です。
- 飼養に関係のない者の入場を禁止するとともに、入退場を記録しましょう。

手指消毒

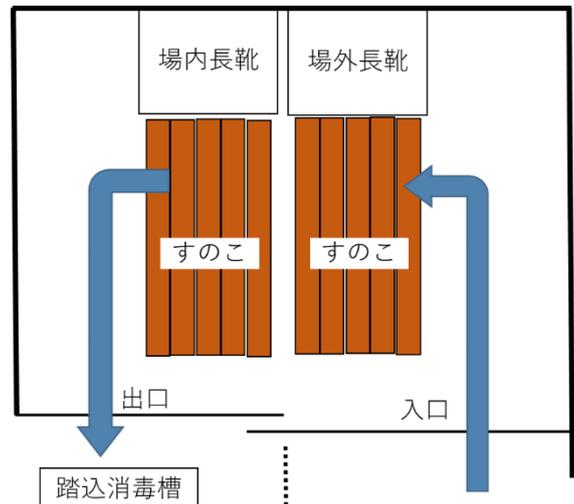
- ・鶏舎の入口ごとに消毒用アルコールを設置します（または鶏舎ごとに使い捨ての手袋を着用）



(出典：農林水産省)

入退場時の靴の交換・消毒

- ・鶏舎内外での靴が交差しないようにすのこ等で物理的に区分します
- ・鶏舎専用靴は定期的に洗浄・消毒します（汚れた場合はその都度）
- ・踏込消毒槽の消毒液は毎日交換します（汚れた場合は、その都度）
- ・消毒効果の落ちる冬場は希釈倍率を上げます



衛生管理区域
より

(出典：岐阜県)

鶏舎専用作業着への更衣

- ・鶏舎専用作業着を設置し、更衣を行うことで、鶏舎へ持ち込まれるウイルスの数を大幅に抑制します

車両・資材の消毒

- 飼養管理に必要な物以外は持ち込まないこと、持ち込む全ての資材を適正な方法で、全面に消毒することが重要です。
- 携帯電話、時計、眼鏡等の小物も例外なく消毒が必要です。

車両の消毒

- 車両出入口に消毒ゲートや動力噴霧器を設置します
- 車両本体に加え、車両底面、タイヤ、タイヤハウス内も含め死角なく消毒します
- タイヤの洗浄に車両消毒槽を使用する場合は定期的に消毒槽内の消毒液を交換します

車両消毒



(出典：農林水産省)

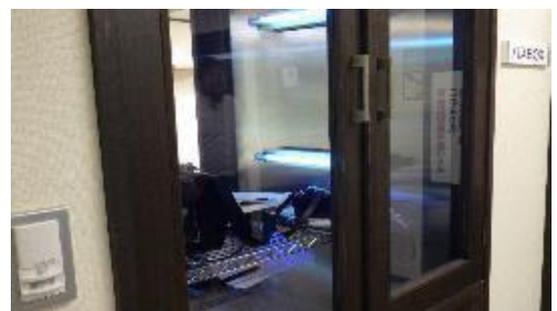
区域ごとの専用機材の設置

- 区域（農場外、衛生管理区域、鶏舎）ごとに使用する機材を設置し、原則区域外へ持ち出しません
- やむを得ず区域外へ持ち出す場合は、洗浄・消毒を確実に実施します

資材の消毒

- (小物であっても) 衛生管理区域内、鶏舎内へ物を持ち込む場合は漏れなく消毒を実施します
- 消毒対象物の全面に消毒効果が発揮されるように消毒を実施します

資材の消毒の一例（紫外線照射）



(出典：岐阜県)

野鳥・野生動物の侵入対策

- 一時的に生じる隙間、建物構造上の隙間、小さな隙間でも、野生動物は関係なく侵入します。
- 人間が徹底的に消毒等を行っても、野生動物の侵入を放置しては、疾病発生リスクは大幅に上昇します。
- 毎日、侵入できる隙間や侵入痕がないかを確認し、隙間や侵入の痕跡がある場合には速やかに対策することが重要です。

鶏舎の非開放状態の維持

- ・鶏舎に入ったら速やかに扉を閉めます

防鳥ネット等の設置

- ・一時的開放状態（鶏舎の破損・換気等）でも防鳥ネット（2cm角以下の網目）の設置等の対策が必要です
- ・建物構造上の小さな隙間も確実に閉鎖します（集卵・除糞ベルト、換気扇、排水溝等）
- ・堆肥舎、飼料保管庫、死体保管庫等についても防鳥ネット設置が必須です



（出典：岐阜県）



網目2cm以上のネットを二重に設置

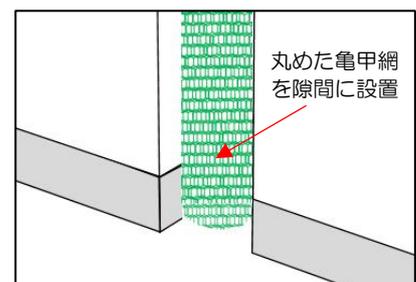
（出典：農林水産省）

ねずみ対策

- ・鶏舎やその他衛生管理区域内施設に定期的に粘着シートの設置や殺鼠剤の散布を実施します

野生動物侵入状況の確認

- ・毎日、飼養管理に合わせ、野生動物が侵入した痕跡等を確認します
- ・侵入を感知した際は、駆除の実施に加え、侵入経路の発見・対策が重要です



野生動物が侵入しそうな箇所に亀甲網を丸めて設置することで、侵入有無を確認できる

（出典：岐阜県）

施設の管理（修繕・整理整頓・消毒）

- 毎日の飼養管理に合わせて、施設に破損がないかを点検しましょう。
- 施設の破損はウイルスに対し無防備な状態と同じです。速やかに修繕を行うことが重要です。

施設破損状況の点検

- ・毎日、施設に破損がないか確認し、小さな破損のうちに速やかに修繕します
- ・速やかな修繕が困難な場合には、応急措置を実施し、修繕完了まで重点的に野生動物侵入の有無を確認します



金網等の破損修繕



壁等の破損修繕

(出典：いずれも農林水産省)



集卵・除糞ベルトの開口部の隙間対策



排水溝等からの侵入防止対策（鉄格子の設置）

(出典：いずれも農林水産省)

構造上の隙間の閉鎖

- ・建物構造上の小さな隙間も、確実に閉鎖します（集卵・除糞ベルト、換気扇、排水溝等）

鶏舎内外の整理整頓・消毒

- ・定期的に鶏舎内外の整理整頓、清掃を実施し、ねずみや野鳥の繁殖場所をなくします
- ・鶏舎周囲には消石灰等を散布します

清掃された鶏舎の屋根



(出典：(社)全国家畜畜産物衛生指導協会)